



(1)起點附近の道路状況。

府縣道寶塚六甲山線災害復舊工事

兵庫縣西宮土木出張所長 松田愛太郎
道 路 技 師



(2) 起點より250米附近のヘアピン・カーブ。

(1) 緒 言

府縣道寶塚六甲山線は兵庫縣武庫郡良元村地内にある阪神地方の景勝地として、又少女歌劇のある事で有名な寶塚から仁川の河岸沿

ひに六甲山（海拔900米の最高峰、ゴルフ場別荘地多し）頂上に登り、六甲山連峰を縦走して神戸市に至る道路で、延長の長きこと眺望の雄大なること阪神地方随一として内外人に熟知せられてゐる観光自動車道路であるが



(3) 起點より1,800米附近仁川右岸に沿ふ道路。

去る昭和10年9月11日の阪神地方大出水の祭仁川筋の大洪水の爲、仁川に沿ひし約4軒間の道路が殆んど跡方なく流失され、通行不能に陥つたので、本縣では直ちに國庫より補助を仰ぎ、復舊工事に着手し、昭和12年10月其

の工事を完了した。

(2) 設計の大要

本道路が流失したのは仁川筋の未曾有の洪水に依るものである事は前に記した通りであ



(4) 起點より
2,000 米の寒天
製造小屋附近の
道路及砂防堰堤
工事。

るが、舊道路は計畫高が低く、路面が仁川の洪水面以下にあつた事が水害に遭ひし一原因たるに鑑み、復舊計畫に當つては路面高を洪水高以上にとり、又本道路附近の地質が崩壊期の花崗岩にて、山肥を露出すれば風化崩壊

が甚しくなることを考慮し、仁川の流水断面の許す限り護岸を設け、盛土に依つて路面を築造することとし、切取に依る築造を成るべく避ける様にした。

護岸は概ね石積工とし、石材は現場附近に



(5) 起點より2,900米
の地點、仁川に架設せる
鷲林寺橋(鐵筋コンクリ
ート突桁橋、橋長28.0米、
員7.0米)

て採取したる野面石を使用して工費の節約を計つたが、石質稍不良のため、法高最高13米に及ぶ個所又は水當り強き個所には、裏込として配合1:3:6のコンクリートを厚0.3米に、其他の個所は厚0.1米に施工して補強す

る事にした。

中心線は殆んど舊路線の中心線を撰定したが、舊路線にて最急15%の勾配があつた個所だけヘヤピン・カーブを入れて、勾配を8%に緩和した。尙切取面は風化崩壊を防ぐため



(6) 起點より
3,400 米附近、
西宮水道取水路
と交叉箇所施工
中の状況。

法面保護工として、石垣及張芝工を施した。

(3) 工事の大要

工事は仁川筋の砂防堰堤復舊工事と共に施行することとし、請負に附して兵庫縣西宮土

木出張所の監督の下に施工した。請負は大林組で、請負金額23,000圓(砂防復舊工事費をも含む)であるが、セメントは本縣支給とし高爐セメント5,730袋を使用した。